

「ライフデザインレポート」の季刊化



第一生命経済研究所 常務取締役

江崎 正志

「ライフデザインレポート」は、1991年4月にライフデザイン研究所の機関誌「LDI REPORT」として創刊され、以来18年、今号が通巻191号となる。今般、内容を充実させるとともに、より多くの方々に研究成果をご覧いただきたいという思いから、ホームページとの連動を強めたうえで、本誌をリニューアルし、季刊（4・7・10・1月発行）とすることにした。

この「ライフデザインレポート」は主に生活関連分野を中心とした論文を掲載した調査・研究レポートであるが、大きく分けてREPORT、NOTES、WATCHINGという3種類の論文で構成されている。

REPORTは、研究員が生活者の視点で、生活の質の向上のため、アンケート調査やヒアリングをもとに、ほぼ1年間かけて行った研究成果をとりまとめた研究レポートである。NOTESは、REPORT作成前のサーベイ結果やREPORTには掲載しなかったデータあるいはREPORTとは違った視点で分析したショートレポートである。WATCHINGは、世の中で話題になっているトピックや注目すべきデータを、研究員が独自の視点で分析したミニレポートである。

「ライフデザインレポート」を季刊化するにあたって、いくつかのポイントがある。一つめは本誌に掲載される各種論文について、当研究所ホームページへの公開のタイミングを早めたことである。REPORT、NOTESは、これまで要旨のみを本誌掲載と同時にホームページに公開し全文は次号発行時に公開していたが、これを本誌掲載と同時に全文ホームページに公開することにした。WATCHINGは、毎月ホームページに先行配信し、これを3カ月分まとめて本誌に掲載することにした。

二つめは、当研究所ホームページ（ライフデザイン研究本部サイト）に、本誌の論

文を分野別にも掲載したことである。現在、分野別のサイトには、本誌論文をライフイベント毎に8分類に再整理し、「就労・雇用」59編、「結婚・出産」22編、「育児・教育」80編、「健康・医療」51編、「介護」37編、「退職・老後」106編、「万一・相続」12編、「その他生活全般」151編が公開されている。

今月号の論文を分野別にみると、結婚・出産に関する分野では「不況と少子化」、育児・教育では「子育てしやすい地域社会のために」、「プレイパークみどりの次世代育成空間」、健康・医療では「障害者等の対面・非対面窓口の利用実態」、「受動喫煙から健康を守るために」、万一・相続では「死の自己決定について」、その他生活全般では「消費者における情報の受発信と意識」が掲載されている。

三つめは、それぞれのライフイベントに関心のあるお客さまが、第一生命ホームページ（生涯設計のサイト）から当研究所ホームページ（分野別のサイト）に直接アクセスできるようにしたことである。

表紙も一新した。コーポレートカラーであった緑色を基調にしつつ山吹色を加えることで、誕生から始まる一生涯のあらゆるステージにおいて、より多方面から生活関連のテーマを調査研究対象としていることを表した。3本の横線は棒グラフをイメージし、世の中の動きを継続して定量的にとらえること、中央に積み重ねた3つの正方形は人々の意識の変化を定性的にとらえていくことを表現している。

ところで、本誌は研究員の研究成果をとりまとめた論文集であり、図書館や大学、研究機関、研究所などにもこれをお届けしている。私たちとしては、本誌研究成果を広く世に問う媒介として、さらに多くの皆さまにも読んでいただきたいと思っている。特に、これからは子育てや老後問題などの重要性がますます高まっており、この「ライフデザインレポート」を「専門的なレベルの研究を、多くの人に受け止められやすい形になるよう上手に工夫して、広く一般の生活者に提供する」という考え方で、さらに大きく育てていきたい。本誌が一人でも多くの皆さまにとって、ライフデザインを見直すきっかけや参考になれば幸いである。

*

本年4月に当研究所は第一生命ウェルライフサポートと合併しました。これを機にライフデザイン研究本部では、健康・医療・介護分野の調査・情報収集機能やセミナーを中心とする情報発信機能を、これまで以上に強化していきたいと考えております。引き続き、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。